

一般会計

192.5億円

～「持続可能な飛騨市づくり」の実現に向けて～

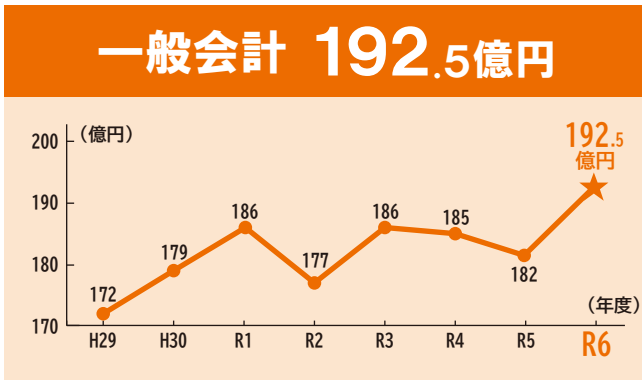
令和6年度 予算

元気な
飛騨市づくり

あんきな
飛騨市づくり

誇りの持てる
飛騨市づくり

令和6年度予算は、公共施設整備への大規模投資、アウトソーシングの推進に伴う増額により、市制施行後最大規模となりました。人口減少や少子化による影響で地域の担い手不足が深刻化し、これまで同様の活動が困難となってきている中、「持続可能な飛騨市づくり」の追求をテーマに予算編成しました。また、「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現に向けて、これまでの施策をさらに充実・深化させる予算としました。



全会計 313億円

一般会計 192億5,000万円
(↑市制執行後最高額)

特別会計 68億 500万円

企業会計 52億4,988万円

単位：億円

歳入							歳入合計					
市税	35.0	地方交付税	65.0	国県支出金	25.7	市債	13.6	繰入金	24.7	その他	28.5	192.5億円
全体の割合												
18.2%		33.8%		13.4%	7.1%	12.8%	14.7%					

歳出 (性質別)							歳出合計							
人件費	32.9	扶助費	18.8	公債費	17.4	補助費等	20.8	普通建設事業費	30.6	出資金	2.8	その他	69.2	192.5億円
全体の割合														
17.1%		9.8%	9.0%	10.8%	15.9%	1.4%	36.0%							

■令和6年度の一般会計予算のポイント

過去の借金返済である公債費が計画どおりに前年度比2.8億円減少した一方で、防災行政無線デジタル化事業6.0億円など投資的経費が31.3億円（前年度比8.4億円増）となったほか、放課後児童クラブ運営などのアウトソーシングを推進するための経費や市民生活にかかせないごみ収集やバス運行をはじめとした各種委託料などがじわじわと増高した影響で、一般行政経費全体で91.7億円（前年度比5.3億円増）となりました。これらの結果、市制執行後、最高額の予算となりました。



■予算の政策立案の考え方

飛騨市の課題

- 少ない人口でも地域を維持していく対策をどう打ち出すか
- 実質賃金が物価に追いつかないなど、税収・地方交付税等の財源の見通しが立たない間の財政運営をどう乗り切るか
- 弱い立場の方々の支援をどう充実させるか
- 限られた財源と職員数で行政サービスや公共施設をどう維持するか

令和5年度に引き続き
「持続可能」を
キーワードに
予算・政策を編成

※予算の概要・主要事業の詳細内容は市ホームページ（右コード）でご覧になれます





令和6年度のテーマ・主な事業の概要と予算額を紹介します 『持続可能な飛騨市づくり』の追求

外貨獲得の仕組みをつくる

販路や誘客の拡大を図るため、市内の高い価値を持つ食材や特産品、観光資源を活用した取組みを行います。

新規 台湾・シンガポールにおける
現地商談会の開催 **300万円**

市輸出アドバイザーの支援を得ながら、台湾における輸入事業者個別訪問、展示会出展等の現地営業に加え、シンガポール市場進出に向けた現地調査を開始します。

新規 瀬戸川・まつり広場エリアの
夜間景観の改善 **220万円**

瀬戸川（一部）・まつり広場の夜間景観、照明を改善するための基本設計を行います。

拡充 カミオカラボ展示リニューアル **1,164万円**

令和5年度で開館5年を迎えたカミオカラボについて、令和5年度中に関係者で検証した意見を集約したうえで、今後のリニューアルに向けた詳細設計を行います。

拡充 飛騨の匠文化館リニューアル **624万円**

飛騨の匠文化館が令和7年4月に市へ譲渡されることから、古川の町並みの歴史や匠の大工技術等を学ぶことができる施設としてリニューアルするための検討を行います。

持続可能な産業基盤をつくる

人口減少の中で市内産業の持続化を図るため、人材を確保する取組みに加え、DX等の省力化推進のための取組みを行います。

新規 社宅整備支援制度の創設 **150万円**

市内企業が人材確保のために空家を活用して新たに社宅を整備する場合の支援制度を創設し、空家の改修に必要となる経費の1/2（上限150万円）を助成します。

新規 Iターン就職者向け
マイカーローン利子補給制度の創設 **50万円**

飛騨地域の生活には自家用車所有の必要性が高いことから、移住労働者向けマイカーローン利子補給制度を創設し、利息分の1/2(上限5万円・最大3年)を助成します。

拡充 公共交通の運転手確保 **40万円**

従業員が第二種運転免許または大型第一種運転免許を取得する場合の費用を助成する公共交通事業者に対し、助成額の1/2の額を支援します。

拡充 求人情報掲載に係る支援 **200万円**

市内企業が人材確保のために大手就職情報サイト等に求人情報を掲載する場合に必要な経費に対し、2/3(年1回まで、上限50万円)を助成します。

未来へ繋ぐ農林畜産業をつくる

農林畜産業の持続化を図るため、人材の確保・育成、担い手農家や営農組織への支援を行うとともに、豊富な森林資源の保全・活用を推進します。

新規 土地利用型農業の検討 **26万円**

土地利用型農業検討会議を立ち上げ、市内の大規模担い手農家や集落営農組織と一緒に将来的な土地利用型農業の方針や課題を協議、検討します。



新規 市による農業機械の貸出し **749万円**

市でトラクターを購入し、機械更新ができない水稻農家や水稻生産の作業受託を担っていただく農業者に対する農業用機械貸出制度の創設に向けた実証を行います。

新規 耕作放棄地利活用の検討 **650万円**

耕作放棄地対策として、国の補助制度を活用し、古川町黒内地内の元果樹園地においてワイン用ブドウの植樹に向けた荒廃農地の整地工事を行います。

新規 クマ出没対策の強化 **400万円**

クマを誘引するおそれのある果樹等を伐採する費用への支援を時限措置として拡充するとともに、猟友会に対しドラム缶わなの支給等を行い、クマ捕獲体制の強化を図ります。

持続可能な暮らしをつくる

これからも安心して暮らせるまちをつくるため、住環境・子育て環境や防災体制の整備、地域コミュニティ活動への支援などを行います。

新規 子育て世帯応援クーポンの発行 1,500万円

子育て世帯支援のため、1才～18才までの子1人につき5,000円分のクーポン券（電子クーポン）を交付します。



新規 出生児へウェルカムベビーボックスのプレゼント 180万円

コープぎふと連携し、市から2万円相当の赤ちゃん向け用品が入ったボックスを贈呈することで出生をお祝いします。

拡充 防災行政無線のデジタル化 6億円

災害発生時等における市民への避難情報等の迅速かつ確実な伝達体制を確立するため、令和6～7年度にわたって防災行政無線のデジタル化のための工事を行います。

新規 公私連携保育所型認定
こども園設置に向けた準備 2,500万円

神岡町における令和8年度からの「公私連携保育所型認定こども園」設置を目指し、職員交流等を開始します。

拡充 こども達の提案を取り入れた
公園づくり 1,485万円

古川西小学校児童の提案を受け、杉崎公園の継続的な整備を行う中で、休憩施設および植栽の整備を行います。

新規 思春期健診の試行実施検証 370万円

大人になってから生きづらさを抱えないよう、思春期を迎えたこどもたちの体や心の状態や問題を把握するための「思春期健診」について実施検証を行います。

誰一人取り残さないまちをつくる

弱い立場にある方々の支援をはじめ、ダイバーシティのまちづくりや多文化共生、平和への貢献に関する取組みを行います。

拡充 ふらっと+（プラス）支援ラボの
研究基礎体制づくり 182万円

専門医や看護師とコラボし、生きづらさを抱える方の困りごとを予防的に介入していく体制づくりを行います。



新規 高齢者のスポーツ環境整備 5,000万円

飛騨市シニアクラブ連合会から要望いただいている高齢者の利用機会が多い既存スポーツ施設の環境整備を行うことで、高齢者スポーツの推進と健康増進を図ります。

拡充 教育相談員の追加配置 1,803万円

生活面や学習面で不安を抱える児童生徒に対し早い段階で適切な支援を行うため、小学校における校内教育支援センター（相談室）の教育相談員を増員します。

拡充 ダイバーシティの普及促進 75万円

性別、年齢、障がいの有無、国籍など様々な違いを持つ人々が共存しながら、誰もが自分らしく活躍できるダイバーシティのまちづくりに向け、普及啓発活動を推進します。

持続可能な飛騨市役所をつくる

持続可能な市役所の実現を目指し、人材確保対策、業務の見直しやアウトソーシングを推進します。

新規 書かない窓口の実現 2,737万円

窓口専用システムの導入により窓口における各種申請書類への記入手間を減らすことで手続の所要時間を短縮し、「書かなくても良い窓口」を実現します。

新規 放課後児童クラブ等業務の
包括業務委託 1億4,200万円

人材と持続的な業務体制を確保するため、令和6年度から放課後児童クラブ、校務員、学校司書、児童生徒支援員の管理及び運営業務を包括的に外部委託します。

資源と環境を未来に繋ぐ
仕組みをつくる脱炭素化の推進を図るため、再エネ活用や省エネ・リサイクルの促進、
自然資源の保全に取り組みます。

拡充 森スケによる自然環境保全 50万円

森を助けるヒダスケ「森スケ」を活用し、市内3
湿原におけるヨシ刈りやオオバコ除去、登山道の
整備など、ボランティアによる自然環境の保全活
動を行います。

拡充 住宅省エネリフォームの助成 2,000万円

開口部や外壁、屋根・天井又は床の断熱改修、高
効率給湯器や節水型トイレなどのエコ住宅設備の
設置等の費用に対し、上限30万円を助成します。

拡充 グリーン専門人材の活用 560万円

グリーン専門人材を環境課に配置し、各課が所管
する関連施策を主導的に推進する体制を構築する
ことで、効率的・効果的に地域の脱炭素化を推進
します。

新規 脱炭素に向けた取組み推進 297万円

市及び関係団体で構成する飛騨市脱炭素推進協議
会に具体テーマごとに部会を設置し、専門的知識
を有する業者の伴走支援体制を整えることで取組
みの推進を図ります。

地域を担う人材を育てる

持続可能な地域を担う人材を育てるため、地域資源を活用したまちづく
り活動の支援や、活動の機運を醸成するための取組みを行います。

拡充 台湾新港郷との友好交流推進 1,090万円

飛騨市と新港郷との交流が民間交流時代から数え
て30周年の節目を迎えることから、新港郷におい
て記念イベントが開催されるのを契機にさらなる
交流促進を図ります。

拡充 市制20周年をみんなでお祝い 1,000万円

市制施行20周年を契機に市内におけるまちづくり
活動を後押しするため、期間限定の支援制度を設
け、市民による自発的なまちづくり活動の創出を
図ります。

新規 戦国観光資源を活用したPR 295万円

江馬氏城館跡の国指定史跡・国名勝指定、姉小路
関連史跡の国史跡指定という好機を受け、商品開
発やマップ作成など戦国観光資源を活用した誘客
促進を図ります。

拡充 関係人口と共創するまちづくり 289万円

関係人口と地域の課題を解決する仕組み「ヒダス
ケ!」を推進するとともに、新たに企業を対象とし
た企業版ヒダスケ!を開始し「関係法人」の獲得を
目指します。

未来に誇れる文化、教育をつくる

未来に誇れる文化、教育をつくるため、楽しく学び、安心して過ごせる教育環
境と、市民等がスポーツ・文化活動を楽しむことができる環境を整備します。

新規 神岡小学校プールの更新 350万円

子どもたちが安心安全に学ぶことができる環境を
整えるため、老朽化が著しい神岡小学校のプールの
改修工事に向け、調査設計業務を行います。拡充 ICT機器を活用した
学習環境の整備 1億1,050万円学習環境の整備のため、児童生徒1人につき1台
備えているタブレットPC等のICT機器端末につい
て、整備から5カ年を経過したものを対象として
更新します。

拡充 地域クラブ活動への移行 2,540万円

令和8年度からの地域クラブ活動への本格移行に
向けて、合同部活動実施時の送迎バスの運行、指
導者への謝礼支払い等を実際に行い、課題や改善
点を整理・研究します。

新規 姉小路氏城跡の継承 650万円

史跡の保存活用計画策定に向けた検討委員会を立
ち上げるとともに、並行して関係課連携のうえガ
イド養成やガイドマップの制作、現地案内表示看
板の設置などを行います。